

ITS 最新事情 ～ITS世界会議・愛知名古屋に向けて～

ITS Japn 専務理事 寺島 大三郎

1. はじめに

本年10月名古屋においてITS世界会議が開催される。今回の世界会議の開催を機に、発表・紹介が予定されているITSの研究開発の概要やITSの普及進展の状況について紹介する。

2. ITSの概要

① ITSとは

ITSは、“Intelligent Transport Systems”（高度道路交通システム）の略称である。

移動・交通分野にIT技術を活用して、国民生活の向上と経済の活性化に貢献するものである。

② ITSの貢献分野

移動・交通分野にIT技術を活用することによって、ITSが国民生活の向上や経済の活性化に貢献できる主な分野としては、「安全・安心」、「環境・効率」、「快適・利便」の3つがあげられる。

③ ITSの事例

既に実用化しているITSのシステム例としては、カーナビ、VICS、ETCが良く知られている。カーナビは、既に累計出荷台数が1500万台、VICSは1000万台、ETCも約400万台に達し、国民インフラ化しつつある。

これらは主に、「快適・利便」の分野での貢献が大きいシステムであるが、ITSの事例としては、このほかに、交通安全の向上（「安全・安心」）や交通渋滞改善（「環境・効率」）に向けた仕組みがある。例えば、自動車の自立型や路車協調型安全運転支援システムやリアルタイム信号制御システム等である。

また、将来は車の「自動運転」が可能となる時代も予想されるが、これもITSの分野に含まれる。

3. ITS世界会議について

① ITS世界会議とは

日米欧3極の産・官・学のITS関係者が集まり、研究開発、行政施策、ビジネス化などの最新状況

について発表するとともに意見交換することにより、世界のITSの発展を促進するために開催される。

② ITS世界会議の歴史

1994年にパリで第1回が開催され、1995年に第2回が横浜で開催された。また、昨年11月、マドリードにおいて第10回が開催された。

③ 今回の名古屋会議

日本として2回目のITS世界会議が、名古屋で10月18日から約1週間、開催される。

今回の世界会議の大きな特徴は、第1に、最先端のITSの研究成果を論文としてだけでなく、実証実験の形で「ショーケース」として提案すること、また第2に、専門家だけの会議ではなく、ITSの実際の利用者である市民の方々にも、積極的に参加して頂けるような、体験型の「市民参加」のプログラムを準備していること、の2点である。

4. ITS最新事情 —最先端ITSの紹介—

今回の世界会議において、日本における最先端のITSのシステムが実証実験の「ショーケース」として紹介される予定である。

具体的には、都市問題の解決や都市の活性化を目指した取組みとして、名古屋市及び豊田市の2つの「ショーケース」が提示される予定である。

また、各分野別の取組みとして、①交通安全への取組み、②最新の交通管制システム、③ETCの活用拡大、④公共交通利用の高度化、⑤地上波デジタル放送の活用、⑥インターネットとの融合など、6つの「ショーケース」が準備されている。

以上、世界最先端のITSを代表していると思われる上記ショーケースについて、概要を紹介する。